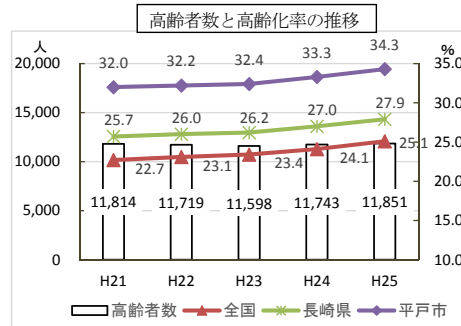


## 【 3款 民生費 】

### 1 社会福祉費

本市の高齢化率は、県下の中でも高く、これと相まって少子化現象もさらに進行するなど、福祉を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。このため、社会全体で支える介護保険制度の円滑な運営とともに、高齢者が健康で暮らしやすいまちづくりを目指して、在宅福祉のサービスの充実に努めた。また、障害者対策については、地域の中で自立し、生活するための社会参加型の福祉サービスを実施した。



(高齢社会白書 基準日：10.1 現在)

#### (1) 社会福祉対策

高齢社会における地域福祉の向上を目的として、民生委員児童委員及び社会福祉協議会との連携により、積極的に市民のニーズに応じた相談、各種サービス等を提供した。

#### (2) 障害者福祉対策

障害者の高齢化や核家族化など、様々な状況の変化により、行政に求められるニーズも多種・多様化している現状である。また、地域生活への移行や定着のため、住む場所や就労に関する相談も増加傾向にある。平成18年度から、「措置」から利用者と事業所との「契約」による利用へと移行し、平成25年度からは、障害者総合支援法の下で、障害福祉サービスの提供を実施している。これにより、申請手続きにおいて利用者個々のサービス量や支援制度を窓口、電話、訪問で相談対応し、障害者の社会参加を促進し、安心して生活できるように支援した。また、障害者が病院や入所施設でなく地域で自立できるよう支援を行った。

#### (3) 高齢者福祉対策

ひとり暮らしの高齢者や介護保険の対象外となった在宅の高齢者に対し、関係機関と連携をとりながら、介護予防・生活支援事業等に積極的に取り組み、安心、安全な生活が送れるよう福祉施策を実施した。

また、高齢者が老後の生活を豊かなものにするための環境づくりとして、老人クラブの活動を支援することにより、教養の向上、地域社会との交流など、高齢者の生きがいと健康づくりに努めた。

高齢者生活福祉センターにおいては、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、自立的生活の助長と社会的孤立感の解消を図った。また、居住部門においては、高齢のため独立して生活することに不安のある者に対して居住施設を提供することにより、安心して生活できる環境づくりに努めた。

#### (4) 後期高齢者医療対策

後期高齢者医療制度に基づく療養給付費負担金のほか、低所得者に対する保険料の軽減を図るための保険基盤安定負担金、長崎県後期高齢者医療広域連合事務費負担金等の繰り出しを行い、制度の円滑な運営に努めた。

#### (5) 国民健康保険

国民健康保険法に基づく事務処理を行うための人件費負担のほか、低所得者に対する保険料の軽減を図るための保険基盤安定負担金、財政安定化支援事業に基づく財政支援のための繰り出し等を行い、国保財政の健全化及び税負担の平準化に努めた。

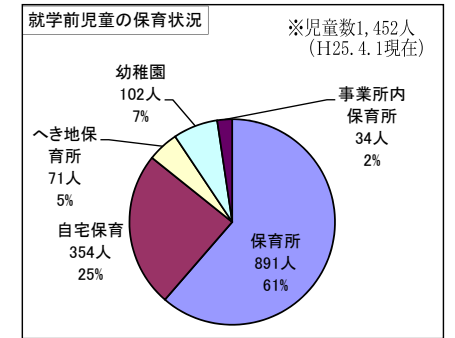
#### (6) 介護保険

介護保険事業を円滑に運営するため、介護保険財政基盤の安定化を推進し、介護保険法に基づく保険給付費、地域支援事業費の繰り出し等を行った。また、低所得者に対する利用負担の軽減・支援措置等を行い、公平、公正な介護サービスの提供を図った。

### 2 児童福祉費

#### (1) 児童福祉対策

次世代育成支援対策推進法に基づき策定した「平戸市次世代育成支援行動計画(後期計画)」に沿って、利用者の多様な需要に対応した保育サービスを実施する保育所に対し助成を行った。放課後対策として、保護者が就労等で家庭にいない小学校低学年の児童に対して適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全育成を図る放課後児童クラブへの活動経費の助成を行った。また、家庭相談員による各種相談・指導・助言により、家庭における児童養育の向上に努めた。さらに、要保護児童対策地域協議会を開催し、要保護児童の早期発見及び適切な保護並びに関係機関との連携、協力を図った。子育て家庭に対して、育児不安や育児ストレスによる虐待防止のための「親子講座」の開催や放課後児童クラブ施設を整備し、子育て親子の支援を行った。全地区における妊婦に対しては、未熟児養育事業として、医療費の助成を行った。定期健診時や出産時における交通費の助成についても、平成25年度から離島だけでなく市内全地区を対象にし、安全安心な出産のための支援を行った。また、託児ボランティアの派遣、乳児の健やかな成長と保護者の経済的負担を軽減するため育児用品の無料貸出しを行い、子育て家庭が安全安心で子育てしやすい環境づくりを行った。



#### (2) 母子福祉対策

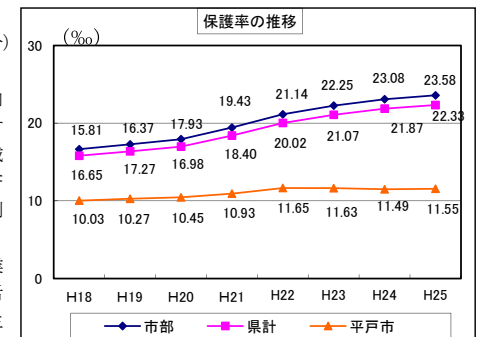
ひとり親家庭等の生活の安定と、自立の促進を目的とした児童扶養手当の認定及び支給を行った。この他、福祉資金の貸付相談、母子家庭自立支援給付事業による必要な指導助言及び家庭支援員を派遣し、育児支援や家事支援を行うなど、母子家庭等の福祉の増進に努めた。

### 3 生活保護費

本市の保護率(人口1,000人に対する保護人員割合)は、平成23年度以降は、ほぼ横ばいで推移している。

全国及び県内の保護世帯数についても、増加傾向であるが、平成25年度と平成26年度当初を比較すると6世帯15人減少していることから、一時的に減少するもの高齢者の増及び公的年金制度の救済未適用者の増加等により今後は増加するものと推測される。

制度の実施については、保護相談時における失業保険や老齢年金及び障害年金受給、住宅手当、生活福祉資金の利用など他法他施策の活用による最低生活維持の可能性を検討し助言を行った。また、保護者に対しては、公的扶助を受ける権利を有するとともに、扶助費の計画的な利用や早期就労による自立、収入届出等の報告義務について被保護者が進んでこれを果たすよう指導を行った。



### 4 災害救助費

現に居住の用に供している建物が、災害救助法の適用基準に達しない災害により被害を受けた市民に対し、小災害見舞金の支給を行った。また、火災により死亡した者の遺族に対し、弔意を表し自立更生を助長するため弔慰金を支給した。

事業名	事業内容	事業費				
			社会福祉協議会支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 144 頁】 【事項別明細書 146 頁】	多様化する福祉ニーズに応えるため、社会福祉の向上を目的とする民間組織団体である社会福祉協議会に対して、地域福祉の増進、広報活動、共同募金運動など福祉ニーズに応えるべく活動する非営利部門に対して助成した。  社会福祉協議会運営補助金 52,952 千円 社会福祉センター運営補助金 6,117 千円	59,069	
福祉健康まつり開催事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	高齢者、障害者、児童、母子寡婦等が地域社会あるいは家庭において、温かく、ふれあいがあり、安心して生活できる環境づくりを推進するとともに、一般市民の理解と関心の高揚を図るため、各種健康相談コーナー、キッズ広場、障害者スポーツコーナー、講演会等開催する福祉健康まつりに対して助成した。  実施団体 平戸市福祉健康まつり実行委員会 参加協力団体 63 団体 講演 浄土寺 香林 亮善住職 「人は縁(えにし)の不思議に生きる」	950				
民生委員児童委員設置事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	社会奉仕の精神を持って自主的に地域住民の福祉の増進に努めるため、社会福祉政策への協力など、広範囲にわたる活動を職務とする民生委員児童委員で構成される民生委員児童委員協議会連合会に対し、活動費等の助成を行った。  民生委員児童委員協議会連合会補助金 12,529 千円 <table border="1" data-bbox="315 882 792 940"> <thead> <tr> <th>委員数</th> <th>実施団体等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>128 名</td> <td>民生委員児童委員協議会連合会</td> </tr> </tbody> </table>	委員数	実施団体等	128 名	民生委員児童委員協議会連合会	12,723
委員数	実施団体等					
128 名	民生委員児童委員協議会連合会					
戦没者追悼事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	先の大戦で亡くなられた方々の御霊を奉慰顕彰するとともに、未来を担う世代に継承するため、各地区遺族会などの関係団体の参加を得て設立した「平戸市戦没者慰霊奉賛会」に対し助成を行った。また、各地にある慰霊碑等維持管理に対しても助成を行った。  ① 平戸市戦没者追悼式補助金 653 千円 (平戸市戦没者慰霊奉賛会 参列者：約 380 人) ② 戦没者慰霊碑等維持管理補助金 440 千円 (平戸地区遺族会他 10 団体) ③ 長崎県追悼式参加費経費等 147 千円	1,268				

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			59,069	社会福祉協議会の運営基盤の強化、施設の維持補修等が行われ、多様化する福祉ニーズに応えるなど、地域福祉の増進に寄与した。
			950	来場者数については、平戸くんち城下秋まつりと同日に行うことで、多くの来場者を期待していたが、増加には至らなかった。しかし、高齢者、障害者、児童、母子寡婦等が地域社会に活動情報等を発信し、参加者の生きがいづくりや市民の福祉健康に対する理解と関心の高揚に寄与することができた。  来場者数 H25：約 3,700 人 H24：約 4,700 人 H23：約 5,300 人
80			12,643	民生委員児童委員活動を支援することにより、地域住民が安心して暮らせる環境づくりに寄与した。また、民生委員の一斉改選に伴い、民生委員定数を見直し、125 名から 128 名に変更し、民生委員の担当世帯数を減らし、より地域住民と密接な関係が築けるようにした。
200		3	1,065	追悼式の開催や遺族会活動を支援することにより、大戦で亡くなられた方々の御霊を追悼するとともに、平和学習の一環として参加した児童や生徒と、あらためて平和の大切さに対する理解と意識の高揚に寄与した。

事業名	事業内容	事業費
地域生活支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 148 頁】	<p>障害者が、自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう特性に応じた支援を行った。</p> <p>○移動支援事業 2,256 千円 屋外での移動が困難な在宅の障害者に対するヘルパーによる移動支援 7 施設 利用人数 16 人 (延べ 94 人)</p> <p>○身体障害者訪問入浴サービス事業 878 千円 在宅の肢体不自由身体障害者 1、2 級で自ら入浴が困難な者に対する訪問入浴支援 1 施設 利用人数 3 人 (延べ利用回数 78 回)</p> <p>○日中一時支援事業 998 千円 在宅において介護を受けることが一時的に困難となった場合に、施設に短期入所させて行う日常訓練等の支援 3 施設 利用人数 10 人 (延べ 198 人)</p> <p>○生活サポート事業 31 千円 障害程度区分非該当者に対し、ホームヘルパーの派遣による日常生活への支援 1 施設 利用人数 1 人 (延べ利用回数 23 回)</p> <p>○社会参加促進事業 3,098 千円 障害者やボランティア等の交流事業を行い、生きがいを持って過ごせるよう支援 市内 5 カ所 15 回 参加人数 43 人 (延べ 124 人)</p> <p>○地域活動支援センター事業 5,518 千円 障害者の社会復帰を目的とした平戸市障害者地域活動支援センター「ホープドリーム」、「はーとオアシス(松浦市)」へ助成</p> <p>○日常生活用具給付事業 8,820 千円 在宅の重度障害者に対する日常生活用具の給付 排泄管理支援用具等 660 件</p> <p>○身体障害者補助犬飼育管理助成事業 178 千円 補助犬を利用する障害者に対する飼育のために必要な経費の助成 盲導犬利用者 2 人</p> <p>○自動車改造助成事業 22 千円 身体障害者の社会参加を促進するため自動車改造助成事業費の一部を助成 利用人数 1 人</p>	21,799
心身障害者福祉タクシー助成事業 (福祉課) 【事項別明細書 148 頁】	<p>社会活動の範囲を広め福祉向上を図るため、在宅の心身障害者で、車椅子常用户、知的障害者、視覚障害者に対し、市内のタクシー業者を利用する場合、基本料金の 9 割助成を行った。</p> <p>車椅子常用户 31 人 (延べ 538 件) 227 千円 知的障害者 5 人 (延べ 75 件) 34 千円 視覚障害者 11 人 (延べ 264 件) 115 千円</p>	376

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
10,207		13	11,579	<p>障害者の行動範囲の拡大などによる日常生活向上や地域での自立が支援され、社会参加の促進と生きがいがいづくりに寄与することができた。</p>
			376	<p>障害者の社会活動の範囲が広がり、障害者の福祉向上に寄与することができた。</p>

事業名	事業内容	事業費
身体障害者交通船 旅客運賃助成事業 (福祉課) 【事項別明細書 148 頁】	第 2 種身体障害者手帳所持者に対し、社会参加とその軽減を図るため交通船旅客運賃の 4 割助成を行った。  大島～平戸 65 人 (延べ 1,507 件) 377 千円 度島～平戸 4 人 (延べ 278 件) 66 千円	443
福祉医療給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 148 頁】 【事項別明細書 150 頁】 【事項別明細書 164 頁】	福祉の増進及び負担軽減のため、心身障害者、乳幼児、母子家庭等における母と子及び寡婦等に対して、医療費の助成を行った。  ○扶助費 154,119 千円 乳幼児 <29,653 千円> 母子家庭等 < 9,786 千円> 障害 1・2 級 <39,558 千円> 療育 A1・2 < 9,076 千円> 老人 <38,838 千円> 障害 3 級 < 9,274 千円> 療育 B1 < 2,171 千円> 単独(障害 4 級・療育 B2・老人 3・4 級 B1) <15,763 千円> ○事務費 3,943 千円	158,062
ひらどふれあい福祉事業 (福祉課) 【事項別明細書 150 頁】 【事項別明細書 154 頁】	地域福祉向上のため、ひらどふれあい福祉基金を活用し、社会福祉活動団体に対して助成した。  健康・生きがいづくり推進事業 実施団体：田平町身体障害者福祉協会 71 千円 実施団体：平戸市グラウンドゴルフ協会 50 千円 実施団体：手をつなぐ育成会 88 千円 実施団体：ふれあいいいききサロン連絡会 300 千円	509

(単位：千円)

財源内訳				事業の成果																																								
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																									
			443	離島に住んでいる障害者の社会活動の範囲が広がり、障害者の福祉向上に寄与することができた。																																								
70,233		5	87,824	心身機能の障害で日常生活に支障がある者、乳幼児、母子家庭等の経済的負担の軽減ができた。  ○支給件数の推移 (単位：件) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳 幼 児</td> <td>23,688</td> <td>22,708</td> <td>22,926</td> </tr> <tr> <td>母子家庭等</td> <td>4,261</td> <td>4,032</td> <td>3,348</td> </tr> <tr> <td>障害 1・2</td> <td>6,701</td> <td>6,806</td> <td>6,609</td> </tr> <tr> <td>療育 A1・2</td> <td>2,068</td> <td>1,833</td> <td>2,084</td> </tr> <tr> <td>老 人</td> <td>6,706</td> <td>6,250</td> <td>6,665</td> </tr> <tr> <td>障 害 3</td> <td>2,248</td> <td>2,344</td> <td>2,619</td> </tr> <tr> <td>療 育 B 1</td> <td>875</td> <td>913</td> <td>902</td> </tr> <tr> <td>単 独</td> <td>5,540</td> <td>6,131</td> <td>5,224</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>52,087</td> <td>51,017</td> <td>50,377</td> </tr> </tbody> </table>		23 年度	24 年度	25 年度	乳 幼 児	23,688	22,708	22,926	母子家庭等	4,261	4,032	3,348	障害 1・2	6,701	6,806	6,609	療育 A1・2	2,068	1,833	2,084	老 人	6,706	6,250	6,665	障 害 3	2,248	2,344	2,619	療 育 B 1	875	913	902	単 独	5,540	6,131	5,224	合 計	52,087	51,017	50,377
	23 年度	24 年度	25 年度																																									
乳 幼 児	23,688	22,708	22,926																																									
母子家庭等	4,261	4,032	3,348																																									
障害 1・2	6,701	6,806	6,609																																									
療育 A1・2	2,068	1,833	2,084																																									
老 人	6,706	6,250	6,665																																									
障 害 3	2,248	2,344	2,619																																									
療 育 B 1	875	913	902																																									
単 独	5,540	6,131	5,224																																									
合 計	52,087	51,017	50,377																																									
		509		日頃外出する機会が少ない障害者が、福祉施設等の視察研修や交流を通じて、仲間や生きがいづくりなどの社会参加を促進することができた。また、ふれあいいいききサロン会員や、住民を対象に誰もが集うことができる居場所づくりを推進、サロンの充実を図るため、研修を行い各地域での参加者の介護予防、生きがいづくり、仲間づくりの輪が広がり、以って地域福祉の増進につながった。																																								

事業名	事業内容	事業費
障害者自立支援給付費等事業 (福祉課) 【事項別明細書 150 頁】	<p>障害者自立支援法に基づき、障害者の自立を支援するため、特性に応じた障害福祉サービスを行った。</p> <p>○補装具給付事業 7,012千円 身体機能を補うために、車椅子や補聴器等の補装具の交付、修理費用の給付 交付 69件 修理 41件</p> <p>○介護給付サービス事業 579,742千円 在宅の障害者に対して、ホームヘルパーの派遣や短期入所事業、通所生活介護事業の給付、生活訓練等を必要とする者や家庭において必要な介護を受けられない障害者に対する、施設入所や通所サービス等の給付</p> <p>居宅介護事業 11施設 82人(延べ 754人) 49,959千円 短期入所事業 3施設 10人(延べ 66人) 4,359千円 生活介護事業 47施設 153人(延べ1,802人) 262,532千円 療養介護事業 5施設 13人(延べ 155人) 51,951千円 入所支援施設 27施設 116人(延べ1,343人) 125,862千円 ケアホーム 28施設 63人(延べ 682人) 85,079千円</p> <p>○訓練等給付サービス事業 316,623千円 身体機能等の向上のための自立訓練や、一般企業等での就労が困難な人に働く場の提供、知識及び能力の向上のために必要な訓練給付。グループホームでは、地域の中で生活を望むものに対し、共同生活を営みながら生活支援の給付</p> <p>自立訓練 14施設 32人(延べ 286人) 32,034千円 就労移行支援 9施設 13人(延べ 87人) 16,002千円 就労継続支援 40施設 178人(延べ 1,814人) 239,024千円 グループホーム 20施設 36人(延べ 371人) 29,563千円</p> <p>○相談支援事業 1,337千円 障害者福祉サービスの、個別の利用計画作成の支援 12事業所27人(延べ 76人)</p>	904,714
障害児支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 150 頁】	<p>障害児の療育の場を提供し、障害児とその保護者に対し指導や育成を図った。</p> <p>児童発達支援 1施設 22人(延べ 389人) 3,044千円 放課後等デイサービス 4施設 32人(延べ1,226人) 9,046千円</p>	12,090

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
677,926			226,788	<p>障害者の身体機能の回復や生活能力の向上等が図られ、障害者の自立や集団生活への適応、就労に向けた支援等に寄与することができた。</p> <p>また、介護者の身体的、精神的な援助等にも寄与することができた。</p>
9,067			3,023	<p>幼年期より、日常生活における基本的な動作、集団生活への適応、生活能力向上のための訓練等を通じて障害児の自立促進に寄与した。</p>

事業名	事業内容	事業費												
更生医療給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 150 頁】	<p>身体の機能障害を軽減するために行う医療費について助成を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>人工透析</td> <td>120 人 (延べ 2,058 件)</td> <td>52,402 千円</td> </tr> <tr> <td>心臓</td> <td>7 人 (延べ 53 件)</td> <td>5,308 千円</td> </tr> <tr> <td>身体障害</td> <td>2 人 (延べ 6 件)</td> <td>151 千円</td> </tr> <tr> <td>免疫障害</td> <td>2 人 (延べ 19 件)</td> <td>2,206 千円</td> </tr> </table>	人工透析	120 人 (延べ 2,058 件)	52,402 千円	心臓	7 人 (延べ 53 件)	5,308 千円	身体障害	2 人 (延べ 6 件)	151 千円	免疫障害	2 人 (延べ 19 件)	2,206 千円	60,067
人工透析	120 人 (延べ 2,058 件)	52,402 千円												
心臓	7 人 (延べ 53 件)	5,308 千円												
身体障害	2 人 (延べ 6 件)	151 千円												
免疫障害	2 人 (延べ 19 件)	2,206 千円												
特別障害者手当等 給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 152 頁】	<p>重度の障害による特別な負担の軽減を図るため、在宅の重度身体障害者(児)に対し、手当の支給を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>特別障害者手当</td> <td>65 人 (延べ 778 人)</td> <td>20,384 千円</td> </tr> <tr> <td>障害児福祉手当</td> <td>14 人 (延べ 168 人)</td> <td>2,394 千円</td> </tr> <tr> <td>経過的福祉手当</td> <td>2 人 (延べ 26 人)</td> <td>370 千円</td> </tr> </table>	特別障害者手当	65 人 (延べ 778 人)	20,384 千円	障害児福祉手当	14 人 (延べ 168 人)	2,394 千円	経過的福祉手当	2 人 (延べ 26 人)	370 千円	23,148			
特別障害者手当	65 人 (延べ 778 人)	20,384 千円												
障害児福祉手当	14 人 (延べ 168 人)	2,394 千円												
経過的福祉手当	2 人 (延べ 26 人)	370 千円												
自立支援協議会運 営事業 (福祉課) 【事項別明細書 152 頁】	<p>地域の障害者自立支援に携わる関係者が、個別の相談支援の事例を通じて明らかになった地域の課題を共有し、それを踏まえて地域のサービス基盤の整備に努めた。</p> <p>委員会開催 (1回) 委員 12 名</p>	49												
育成医療給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 152 頁】	<p>身体に障害のある子どもや疾患を放置すれば将来障害を残すと認められる子どものうち、その障害が取り除かれる見込がある場合に、必要な医療給付を行った。</p> <p>83 件</p>	1,008												
療育支援センター 管理運営事業 (福祉課) 【事項別明細書 152 頁】	<p>障害者自立支援法に規定する児童デイサービスを行う療育支援センターの管理運営について、指定管理による適正管理に努めた。</p> <table border="1"> <tr> <td>施設名</td> <td>平戸市療育支援センター「あったかさん 21」</td> </tr> <tr> <td>指定管理者</td> <td>社会福祉法人親愛会</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>6,500 千円</td> </tr> </table>	施設名	平戸市療育支援センター「あったかさん 21」	指定管理者	社会福祉法人親愛会	指定管理料	6,500 千円	6,500						
施設名	平戸市療育支援センター「あったかさん 21」													
指定管理者	社会福祉法人親愛会													
指定管理料	6,500 千円													
高齢者見守りネット ワーク事業 (福祉課) 【事項別明細書 154 頁】	<p>地域全体で高齢者に対する見守りや声かけ等の活動を行い、安否を日常的に確認し、異常者を発見したときに迅速に対応できる体制の確保を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>協力機関事業所数</td> <td>14 事業所</td> <td>サポーター登録数</td> <td>25 名</td> </tr> <tr> <td>見守り対象高齢者数</td> <td>67 名</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	協力機関事業所数	14 事業所	サポーター登録数	25 名	見守り対象高齢者数	67 名			304				
協力機関事業所数	14 事業所	サポーター登録数	25 名											
見守り対象高齢者数	67 名													
敬老行事開催支援 事業 (福祉課) 【事項別明細書 154 頁】	<p>老人の日、老人週間の取組みの一環として、各地区において開催される敬老会に高齢者の人数に応じて交付金の支給を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象者 75 歳以上</td> <td>6,002 人</td> </tr> </table>	対象者 75 歳以上	6,002 人	6,009										
対象者 75 歳以上	6,002 人													

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
45,050			15,017	機能障害を軽減するとともに、障害者の医療費負担軽減がなされた。
17,340			5,808	重度障害による経済的負担の軽減がなされた。
			49	地域の障害者自立支援に携わる関係者が、地域のサービス基盤の整備を着実に進め、加えてサービスの質の向上を図るための体制やネットワークが強化された。
756			252	障害のある児童に対し、早期治療により、障害と医療費負担が軽減された。
			6,500	民間事業者の能力を活用し、利用者のニーズにあったサービスが提供され療育を必要とする利用者への支援が強化された。
			304	<p>高齢者見守りサポーター及び事業所の協力により、独居等の高齢者の安否確認、地域コミュニティの安心安全を確保することができた。</p> <p>サポーター登録数の推移 H24 30 名、H25 25 名</p>
			6,009	身近な地域の人達による敬老会の開催を支援することにより、敬老精神の高揚が図られ、また、高齢者の生きがいづくりに寄与することができた。

事業名	事業内容	事業費
敬老祝金給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 154 頁】	長寿を祝福し、敬老の意を表するため、平戸市内に居住する高齢者に対し、祝金の支給を行った。  敬老祝金 (満 77 歳) 506 人 (満 88 歳) 229 人 長寿祝金 ( 100 歳) 26 人	7,835
老人クラブ活動等 支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 154 頁】	地域における高齢者の生活を健全で豊かなものにするため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブに対し、活動を推進するための運営費の一部を助成した。  単位老人クラブ (65 クラブ) 3,718 千円 平戸市老人クラブ連合会 2,703 千円 〃 世代間交流事業 240 千円	6,661
ワンコインまごころサービス事業 (福祉課) 【事項別明細書 156 頁】	在宅高齢者等の既存の公的サービスで対応できない「簡易な困りごと」を移動時間を含め、1 時間以内の業務を 500 円の利用料で対応した。  委託先 シルバー人材センター 対応件数 26 件	108
緊急通報装置貸与 事業 (福祉課) 【事項別明細書 156 頁】	緊急時の適切な対応を図るため、ひとり暮らしの高齢者等に対し、緊急通報装置を貸与した。  貸与台数 392 台 (平成 26 年 3 月末現在) (内訳) 平戸 228 台 生月 46 台 田平 77 台 大島 41 台	5,422
高齢者デイサービス事業 (福祉課) 【事項別明細書 156 頁】	社会的孤立感の解消、自立生活の助長を図るため、在宅のひとり暮らしの高齢者等に対し、通所による生活指導、機能訓練及び給食サービス等を実施した。  登録者数 28 人 (H26.3 末) 延べ利用回数 1,156 回	2,225
在宅寝たきり高齢者等介護見舞金支給事業 (福祉課) 【事項別明細書 156 頁】	介護の労をねぎらうため、寝たきり高齢者等を常時介護している者に対し、介護見舞金の支給を行った。  支給人数 47 人 (内訳) 平戸 35 人 生月 4 人 田平 4 人 大島 4 人	1,175
高齢者・障害者住宅改造成業 (福祉課) 【事項別明細書 156 頁】	高齢者(要介護者及び要支援者)または重度障害者の日常生活を容易にし、介護者の負担を軽減するため、高齢者等の住宅改造成業を行った。  高齢者 13 件 1,210 千円	1,210

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			7,835	高齢者の福祉の向上と市民への敬老思想の高揚に寄与した。
3,478			3,183	高齢者の教養の向上、健康の増進、地域社会における世代間の交流など、高齢者福祉の増進に寄与した。
			108	簡単な困りごとをワンコインで依頼し、問題を解決することにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活することができた。 対応件数の推移 H24 56 件、H25 26 件
	4,800		622	緊急時の迅速な対応や安否確認、また、普段の生活の心配事、悩み事の相談に応じるなど、日常生活を支援することにより、対象者が安心して在宅生活を送ることができた。
	2,000		225	自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上に寄与した。
		1,175		介護者の労をねぎらうことができ、また、寝たきり高齢者等の福祉の増進に寄与した。
603			607	高齢者及び障害者の日常生活を容易にし、介護者や家族の負担を軽減するとともに、安心して快適に自立した生活を送ることができる環境に寄与した。

事業名	事業内容	事業費																				
度島いきいきプラザ(仮称)整備事業(福祉課) 【事項別明細書 156 頁】	度島診療所及び医師住宅の建替えに併せ、介護予防施設を併設し整備を行った。 鉄筋コンクリート造 平屋建 建築面積 118.75 m <sup>2</sup>	51,083																				
老人保護措置事業(福祉課) 【事項別明細書 158 頁】	概ね 65 歳以上の老人で、環境上及び経済的理由のため、在宅生活が困難な者を対象に、養護老人ホームに入所させ養護した。 ○入所者の状況(平成 26 年 3 月末現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>入所人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>光の園</td><td>50 名</td></tr> <tr><td>しかまち</td><td>26 名</td></tr> <tr><td>グリーンホーム</td><td>6 名</td></tr> <tr><td>ソレイユ</td><td>2 名</td></tr> <tr><td>恵の丘</td><td>2 名</td></tr> <tr><td>光明荘</td><td>1 名</td></tr> <tr><td>湧泉荘</td><td>1 名</td></tr> <tr><td>延命園</td><td>1 名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>89 名</td></tr> </tbody> </table>	施設名	入所人員	光の園	50 名	しかまち	26 名	グリーンホーム	6 名	ソレイユ	2 名	恵の丘	2 名	光明荘	1 名	湧泉荘	1 名	延命園	1 名	合計	89 名	200,758
施設名	入所人員																					
光の園	50 名																					
しかまち	26 名																					
グリーンホーム	6 名																					
ソレイユ	2 名																					
恵の丘	2 名																					
光明荘	1 名																					
湧泉荘	1 名																					
延命園	1 名																					
合計	89 名																					
後期高齢者医療療養給付事業(市民課) 【事項別明細書 160 頁】	被保険者の医療給付費の市負担分を長崎県後期高齢者医療広域連合に対し負担した。	513,807																				
家庭児童相談事業(福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	家庭相談員を設置し、家庭生活及び家庭における子どもの養育についての各種相談・指導・助言を行い、相談指導業務の充実強化を図った。 家庭相談員 1 名 相談件数 1,855 件 ケース検討会 33 回	1,721																				
放課後児童クラブ運営支援事業(福祉課) 【事項別明細書 162 頁】	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童の放課後対策のため、放課後児童クラブへの活動経費に対して施設整備費の助成を行った。また、放課後児童クラブに入所している母子家庭等の児童に対し、保育料の負担軽減を行った。 ○放課後児童クラブ事業補助金 4 カ所(平戸 2 生月 1 田平 1) 14,454 千円 登録児童数 131 人 利用人数 延べ 22,765 人 ○夏休み放課後児童クラブ事業費補助金 1 カ所 400 千円 開設期間 平成 25 年 7 月 22 日～平成 25 年 8 月 23 日(土・日、お盆を除く 22 日間) 開設者 トコトコ ○放課後対策母子家庭等児童助成事業補助金 1,705 千円 対象児童数 45 人、 利用人数 延べ 428 人	16,559																				

財源内訳				事業の成果															
国県支出金	地方債	その他	一般財源																
9,500	40,300		1,283	施設建設に伴い、医療供給体制の充実と福祉・介護サービスの提供を行うことで、医療・福祉・介護の連携が可能となった。															
		25,848	174,910	入所者本人や家族の不安解消と、生活の安定につながった。															
			513,807	後期高齢者医療被保険者の医療給付費の市負担分を負担し、後期高齢者医療制度の安定した運営に寄与した。															
		7	1,714	家庭における人間関係の健全化及び子どもの養育の適正化等家庭児童福祉が向上した。															
10,688			5,871	保護者が昼間家庭にいない児童に授業終了後または休暇期に、適切な遊び場及び生活の場を与えることで、放課後における児童の健全育成や安全対策、また、母子家庭等における保育料の負担軽減に寄与した。 ○登録児童数の推移(各年度 3 月末現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童数</td> <td>100 人</td> <td>134 人</td> <td>105 人</td> <td>131 人</td> </tr> <tr> <td>クラブ数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> ※トコトコ児童クラブ(夏期を含む)		22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	児童数	100 人	134 人	105 人	131 人	クラブ数	2	3	3	4
	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度															
児童数	100 人	134 人	105 人	131 人															
クラブ数	2	3	3	4															



事業名	事業内容	事業費
離島地域安心出産支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】	産婦人科がない離島地域に在住する妊婦に対して、妊娠・出産にかかる交通費等の助成を行い、経済的な負担を軽減し、安全安心な出産の支援を図った。 受給者数 2 人	84
ノーバディーズパーフェクトプログラム事業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】	育児不安や育児ストレスによる虐待を防ぐことを目的に、子育て中の親を支援するためのプログラム事業（親育ち講座）を実施した。 3 カ所（平戸 2 田平 1） 参加者 27 人	63
子育て親社会参加促進事業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】	講演会などへ託児ボランティアの派遣等を行った。 ○子育て親社会参加促進事業 講演会 19 回 ボランティア数 延べ 70 人 児童数 延べ 61 人	141
次世代育成支援対策事業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】	小学校低学年児童の放課後の居場所づくりや、子育ての負担感を緩和し、安心して子育てができるよう環境整備に対する助成を行った。 ○子育てひろば支援事業 9,999 千円 実施箇所数 1 園（平戸 1）1 カ所（田平 1） ○小学校低学年児童受入事業 2,000 千円 実施箇所数 5 園（平戸）	11,999
未熟児養育医療給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】 【事項別明細書 166 頁】	母子保健法第 20 条に基づき、身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする乳児が指定医療機関において、入院治療を受ける場合の医療費を負担した。 給付実人数 4 名	1,353
安心出産支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 166 頁】	離島を除く市内に住所を有する妊婦に対し、妊婦検査（14 回）のための交通費の一部を助成した。助成額については、平戸市から一番近い産婦人科までの自家用車利用時の燃料相当分を妊婦検査受診回数に応じ支給した。 北部地区 71 名 生月壺部地区 4 名 中部地区 19 名 生月館浦地区 4 名 南部地区 27 名 田平地区 50 名 計 175 名	1,081

財 源 内 訳				事業の成果												
国県支出金	地方債	その他	一般財源													
			84	妊娠・出産に係る費用の一部を助成することで、経済的な負担軽減を行い、母子ともに健全な出産に寄与した。												
			63	親の不安感をとり除き、子育てに自信をつけてもらうことができ、虐待等の防止につながった。												
		141		子育て家庭において、社会的な活動に参加しやすい環境づくりに寄与した。												
4,999			7,000	仕事等の社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を容易にするとともに、子育ての負担を緩和することができた。 ○事業実施箇所数の推移 (単位：箇所) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育てひろば支援</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小学校低学年児童受入</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	23 年度	24 年度	25 年度	子育てひろば支援	1	2	2	小学校低学年児童受入	6	6	5
区 分	23 年度	24 年度	25 年度													
子育てひろば支援	1	2	2													
小学校低学年児童受入	6	6	5													
	225	217	911	入院治療に要する医療費の補助により、経済的負担を軽減することができた。												
			1,081	妊婦の経済的負担を軽減することができた。												

事業名	事業内容	事業費
保育対策等促進事業 (福祉課) 【事項別明細書 166 頁】	核家族化の進行や就労形態の変化等に伴う多様な保育ニーズに対応するため、各種保育事業に対する助成を行った。 ○休日保育事業 1,410 千円 実施箇所数 1 園 (平戸 1) ○病児・病後児保育事業 12,930 千円 実施箇所数 3 園 (平戸 2、田平 1) ○延長保育事業 55,178 千円 実施箇所数 13 園 (平戸 10、田平 3)	69,518
障害児保育事業 (福祉課) 【事項別明細書 166 頁】	障害児の保育促進のため、保育に欠ける障害児の受け入れを行う保育所に対して助成を行った。 実施箇所数 7 園 (平戸 5、田平 2)	6,956
保育士等処遇改善事業 (福祉課) 【事項別明細書 166 頁】	保育所運営費の民間施設給与等改善を基礎に、保育士等の処遇改善に要する費用を私立保育所に交付した。	23,514
児童手当給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 168 頁】	児童の健やかな成長に資するため、0 歳から 15 歳までの児童を養育する者に対し、児童手当を支給した。 児童が 0～3 歳未満の被用者 延べ 4,231 人 児童が 0～3 歳未満の非被用者 延べ 2,444 人 児童が 3 歳以上～小学校終了前の児童の被用者 延べ 16,188 人 児童が 3 歳以上～小学校終了前の児童の非被用者 延べ 9,320 人 児童が小学校終了後～中学校終了前 延べ 10,890 人 特例給付 延べ 444 人	497,360

財 源 内 訳				事業の成果																
国県支出金	地方債	その他	一般財源																	
46,345			23,173	核家族化の進行や就労形態の変化等に伴う多様な保育ニーズに対応し、保護者が安心して就労や子育てができる環境づくりに寄与することができた。 ○事業実施箇所数の推移 (単位：箇所) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>休日保育</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>病児・病後児保育</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>延長保育</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	23 年度	24 年度	25 年度	休日保育	1	1	1	病児・病後児保育	3	3	3	延長保育	14	14	13
区 分	23 年度	24 年度	25 年度																	
休日保育	1	1	1																	
病児・病後児保育	3	3	3																	
延長保育	14	14	13																	
			6,956	保育に欠ける障害児の保護者の子育ての負担を緩和することができた。 ○事業実施箇所数の推移 (単位：箇所) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害児保育</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	23 年度	24 年度	25 年度	障害児保育	4	8	7								
区 分	23 年度	24 年度	25 年度																	
障害児保育	4	8	7																	
23,510		2	2	一時金として保育士等へ支給されたことにより、保育士等の賃金が改善された。																
419,293			78,067	次世代の社会を担う児童の健やかな成長に資することができた。 ○区分毎の受給者数 (平成 26 年 2 月末現在) (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童が 0～3 歳未満の被用者</td> <td>306</td> </tr> <tr> <td>児童が 0～3 歳未満の非被用者</td> <td>183</td> </tr> <tr> <td>児童が 3 歳以上～小学校終了前の被用者</td> <td>861</td> </tr> <tr> <td>児童が 3 歳以上～小学校終了前の非被用者</td> <td>485</td> </tr> <tr> <td>児童が小学校終了後～中学校終了前</td> <td>802</td> </tr> </tbody> </table> ※受給者総数 1,975 人	区 分	25 年度	児童が 0～3 歳未満の被用者	306	児童が 0～3 歳未満の非被用者	183	児童が 3 歳以上～小学校終了前の被用者	861	児童が 3 歳以上～小学校終了前の非被用者	485	児童が小学校終了後～中学校終了前	802				
区 分	25 年度																			
児童が 0～3 歳未満の被用者	306																			
児童が 0～3 歳未満の非被用者	183																			
児童が 3 歳以上～小学校終了前の被用者	861																			
児童が 3 歳以上～小学校終了前の非被用者	485																			
児童が小学校終了後～中学校終了前	802																			

事業名	事業内容	事業費
保育所運営事業 (福祉課) 【事項別明細書168頁】	保育に欠ける児童を保育する市内の民間保育所及び市外の保育所に対し、運営費を助成した。  民間保育所 29カ所(市内 15カ所、市外 14カ所) 延べ在籍児童数 10,598人	939,940
母子自立支援員設置事業 (福祉課) 【事項別明細書168頁】	母子自立支援員を設置し、ひとり親家庭等に対し自立支援に必要な相談指導、求職活動に関する支援を行った。  母子自立支援員 1名 相談件数 10,598件	1,662
母子家庭自立支援給付金事業 (福祉課) 【事項別明細書168頁】	母子家庭の就業支援対策として、ホームヘルパー等の資格取得にかかる経費への支援及び看護師等の高度な資格取得のための訓練期間中に給付金を支給した。  高等技能訓練促進費 2人 (看護師 1人、社会福祉士 1人)	1,178
児童扶養手当給付事業 (福祉課) 【事項別明細書168頁】	父母の離別などにより、ひとり親家庭等の生活安定と児童の福祉増進を図るため、児童扶養手当を支給した。 受給者数  内訳 全部支給者 延べ支給人数 2,077人(うち父子 229人) 一部支給者 延べ支給人数 1,833人(うち父子 367人) 第2子加算 延べ支給人数 1,688人(うち父子 233人) 第3子加算 延べ支給人数 598人(うち父子 105人)	151,244
ひとり親家庭等日常生活支援事業 (福祉課) 【事項別明細書168頁】 【事項別明細書170頁】	修学等自立の促進や社会的な事由等により、日常生活を営むのに支障を生じているひとり親家庭等に対して、生活支援員を派遣し、家事支援、子育て支援を行った。  生活支援 利用回数 2回 利用人数 1人	69

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果																				
国県支出金	地方債	その他	一般財源																					
527,175		208,114	204,651	児童の心身の健全な発達と家庭における仕事と子育ての両立に寄与することができた。																				
335		7	1,320	ひとり親家庭等の生活の安定と向上を図り、自立支援ができた。																				
883			295	母子家庭の母が、自主的に就業能力を習得することにより、就職や経済的な自立への促進につながった。  ○利用者数の推移 (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育訓練給付金</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>高等技能訓練促進費</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	23年度	24年度	25年度	教育訓練給付金	1	1	0	高等技能訓練促進費	3	4	2								
区 分	23年度	24年度	25年度																					
教育訓練給付金	1	1	0																					
高等技能訓練促進費	3	4	2																					
49,943			101,301	母子家庭等における家庭生活の安定と経済的な自立への促進につながった。  ○受給者数の推移 (各年度11月末現在) (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全部支給者</td> <td>194(18)</td> <td>181(21)</td> <td>161(16)</td> </tr> <tr> <td>一部支給者</td> <td>158(30)</td> <td>156(28)</td> <td>160(34)</td> </tr> <tr> <td>全部停止者</td> <td>31( 8)</td> <td>27( 7)</td> <td>28( 7)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>383(56)</td> <td>364(56)</td> <td>349(57)</td> </tr> </tbody> </table> ( ) はうち父子家庭数	区 分	23年度	24年度	25年度	全部支給者	194(18)	181(21)	161(16)	一部支給者	158(30)	156(28)	160(34)	全部停止者	31( 8)	27( 7)	28( 7)	合 計	383(56)	364(56)	349(57)
区 分	23年度	24年度	25年度																					
全部支給者	194(18)	181(21)	161(16)																					
一部支給者	158(30)	156(28)	160(34)																					
全部停止者	31( 8)	27( 7)	28( 7)																					
合 計	383(56)	364(56)	349(57)																					
50			19	ひとり親家庭等の福祉の増進に資することができた。																				

事業名	事業内容	事業費																																
へき地保育所運営事業 (福祉課) 【事項別明細書 170 頁】	<p>保育に欠ける児童のため、へき地における保育を要する児童に対して、平戸市社会福祉協議会を指定管理者に指定し、必要な保育を行った。</p> <p>(平成 26 年 3 月 1 日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>定員</th> <th>入所児童数</th> <th>延べ利用人数 (月×12)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>度島町へき地保育所</td> <td>50 人</td> <td>20 人</td> <td>240 人</td> </tr> <tr> <td>根獅子町へき地保育所</td> <td>35 人</td> <td>7 人</td> <td>84 人</td> </tr> <tr> <td>木ヶ津町恵へき地保育所</td> <td>40 人</td> <td>3 人</td> <td>46 人</td> </tr> <tr> <td>早福町へき地保育所</td> <td>20 人</td> <td>6 人</td> <td>70 人</td> </tr> <tr> <td>志々伎町へき地保育所</td> <td>30 人</td> <td>14 人</td> <td>164 人</td> </tr> <tr> <td>野子町へき地保育所</td> <td>30 人</td> <td>22 人</td> <td>264 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>205 人</td> <td>72 人</td> <td>868 人</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	定員	入所児童数	延べ利用人数 (月×12)	度島町へき地保育所	50 人	20 人	240 人	根獅子町へき地保育所	35 人	7 人	84 人	木ヶ津町恵へき地保育所	40 人	3 人	46 人	早福町へき地保育所	20 人	6 人	70 人	志々伎町へき地保育所	30 人	14 人	164 人	野子町へき地保育所	30 人	22 人	264 人	合 計	205 人	72 人	868 人	50,878
区 分	定員	入所児童数	延べ利用人数 (月×12)																															
度島町へき地保育所	50 人	20 人	240 人																															
根獅子町へき地保育所	35 人	7 人	84 人																															
木ヶ津町恵へき地保育所	40 人	3 人	46 人																															
早福町へき地保育所	20 人	6 人	70 人																															
志々伎町へき地保育所	30 人	14 人	164 人																															
野子町へき地保育所	30 人	22 人	264 人																															
合 計	205 人	72 人	868 人																															
生活保護事業 (福祉課) 【事項別明細書 174 頁】	<p>生活保護法に基づき、被保護者に対し、最低生活を保障するとともにその自立を支援した。</p> <p>○平成 26 年 3 月末現在</p> <p>被保護世帯数 299 世帯 被保護人員 372 人</p> <p>生活扶助 159,686 千円 住宅扶助 17,537 千円</p> <p>教育扶助 1,530 千円 医療扶助 469,441 千円</p> <p>介護扶助 16,220 千円 生業扶助 120 千円</p> <p>葬祭扶助 237 千円 施設事務費 1,919 千円</p>	666,690																																

財 源 内 訳				事業の成果																																
国県支出金	地方債	その他	一般財源																																	
6,000	37,600	2,562	4,716	<p>交通条件及び自然的諸条件に恵まれない山間地、離島等において、へき地保育所を運営することにより、へき地における児童福祉の向上に寄与した。</p> <p>○入所児童数の推移 (各年度 3 月 1 日現在) (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>度島町へき地保育所</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>根獅子町へき地保育所</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>木ヶ津町恵へき地保育所</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>早福町へき地保育所</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>志々伎町へき地保育所</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>野子町へき地保育所</td> <td>15</td> <td>19</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>72</td> <td>74</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	23 年度	24 年度	25 年度	度島町へき地保育所	20	20	20	根獅子町へき地保育所	15	11	7	木ヶ津町恵へき地保育所	5	3	3	早福町へき地保育所	5	6	6	志々伎町へき地保育所	12	15	14	野子町へき地保育所	15	19	22	合 計	72	74	72
区 分	23 年度	24 年度	25 年度																																	
度島町へき地保育所	20	20	20																																	
根獅子町へき地保育所	15	11	7																																	
木ヶ津町恵へき地保育所	5	3	3																																	
早福町へき地保育所	5	6	6																																	
志々伎町へき地保育所	12	15	14																																	
野子町へき地保育所	15	19	22																																	
合 計	72	74	72																																	
509,266		2,473	154,951	<p>生活困窮者に対し、必要な保護を実施することにより、自立助長を促すことができた。</p>																																